

和し鍛え学ぶ

ご挨拶

この度の定期人事異動で末野原中学校長に着任いたしました平井です。歴史と伝統ある末野原中学校の校長として本校に赴任し、身の引き締まる思いです。本校の校訓「和し鍛え学ぶ」のもと、お子様にとって充実した中学校生活になるよう、教職員一同、新たな決意で令和5年度を迎え、新年度の教育活動の準備を全力で行っています。精一杯頑張って参りますので、保護者の皆様、地域の皆様の温かいご理解とご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

末野原中学校は、今年で開校39年目を迎えます。校地に植えられた木々は見上げるほどの高さまで生長し、歩んできた年月の長さを感じます。また、校内のあちらこちらに歴代の卒業生が残していく成長の足跡や記録が残されており、学校の敷地や校地を歩くと改めて歴史の重さを感じます。

令和5年度は全校生徒727名、教職員67名でスタートします。豊田市の小中学校も少子化の影響を受け、多くの学校で児童生徒数の減少傾向が見られる中、全校生徒727名、25クラスの本校は市内屈指の大規模校です。活気あふれる末野原中学校を全校生徒と職員で作っていきたいと考えています。

コロナ禍も出口が見え始め、5月8日の感染症区分の変更（5類相当への変更）に向けて、ようやくあと一息というところまできました。教職員一同、生徒の成長を願い、かけがえのない中学校生活が充実したものになるよう頑張っていく所存です。令和5年度の末野原中学校をよろしくお願ひいたします。

令和5年4月4日 末野原中学校長 平井千夏

校長室の窓から

4月3日（月）の朝、職員に着任のあいさつをして令和5年度がスタートしました。

もう何度目の異動でしょうか、30年以上の教員生活で、こうした異動には慣れているはずですが、新しい環境に慣れるまでは、やはり、いろいろなことを覚えるのに少し時間がかかります。例えば、ペン1本、紙一枚、ファイルやバインダーなど、仕事に必要なものがどこにあるか。昨日までそんなことをいちいち考えなくとも仕事ができていたことが、学校が変わると周りの人たちに教えてもらわないと何もできなくなります。

末野原中の先生たちは優しいです。みんな職員室でとても忙しくしているのに、何か聞くとすぐに手を止めて（しかも笑顔で！）教えてくれます。しかも、しかも、「あっちにあります」と言葉で教えてくれればわかるところを「こちらです」と席を立って案内までしてくれます。

自分は、まるで知らない場所で迷っている「おのぼりさん」のような心境で、「忙しいのに、こんなつまらないことを聞いて申し訳ない」と思いながら声をかけるのですが、とても親切です。

入学する生徒たちもきっと同じ気持ちでしょう。自分も長い中学校勤務のなかで、入学したばかりの1年生の子が自分の教室が分からなくなつて校内で迷子になつていることを何回も経験しています（本当です）。

1年生の皆さん、困つたら何でも聞きましょう。誰かに聞いたことで会話が弾み、「ありがとう」が仲良くなるきっかけになることは、けっこう多いような気がします。

